

科目名		授業形態	担当教員名	
救急医学概論		講義	山口 砂織	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 (1 単位)		8 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
救急診療では、理学的所見だけでなく、画像診断も重要な役割を占めている。多様な患者を受け入れ、時間的制約がある救急医療の現場で、どのように検査を行い、診断治療に役立つ情報を提供できるのか。診療放射線技師が救急医療に携わるために必要な用語、知識、検査を行う際に必要な撮影技術を修得する。				
授業の到達目標				
①救急医療で使用される専門用語およびその定義について説明する。 ②診療放射線技師が救急検査に携わる際に、必要な知識、撮影技術を説明する。 ③救急医療における代表的な画像所見について、指摘し、同定する。				
授業計画				
回	内容			
1	救急医療とは 専門用語の定義と解説			
2	救急撮影法－頭部・脊椎① 頭部・脊椎外傷の代表的な画像所見－1			
3	救急撮影法－頭部・脊椎② 頭部・脊椎疾患の代表的な画像所見－2			
4	救急撮影法－胸部① 胸部疾患の代表的な画像所見			
5	救急撮影法－胸部② 胸部外傷の代表的な画像所見			
6	救急撮影法－腹部・骨盤① 腹部・骨盤外傷の代表的な画像所見			
7	救急撮影法－腹部・骨盤② 腹部・骨盤疾患の代表的な画像所見			
8	救急撮影法－救急撮影で用いられる各種画像診断の特徴、まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	講義資料を配布する。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準救急撮影法	日本放射線技術学会 坂下恵治		オーム社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				